



一、富山県富山市

コンパクトシティにみる まちづくり

趣旨

近年、わが国全体で本格化する人口減少、高齢化社会に対応するため、都市機能をコンパクトに集約した「持続可能なまちづくり」が求められています。

富山市では、都市郊外化・スプロール化を抑制し、市街地のスケールを小さく保ち、歩いていける範囲を生活圏と捉え、コミュニティの再生に取り組んでいます。串(ライトレールなどの公共交通)とお団子(徒歩圏)というクラスター状の都市モデルにより、お団子(徒歩圏)に中心市街地的な都市機能を集積させ、公共交通の充実により沿線駅周辺地区の開発を進め、高齢化社会へも対応したまちづくりを進めています。

そこで、富山市のコンパクトシティへの取り組みを通じ、公共交通を軸とした沿線地区の地域活性化、まちなかの賑わい創出の手法など、まちに活気を取り戻す仕組みづくりを学びます。



概要

富山市(人口421,890人：平成22年国勢調査速報値)は、富山県中央部に位置し、富山湾から北アルプス立山連峰に至るまでの多様な地勢を誇る、水と緑に恵まれた自然豊かな日本海側有数の中核都市です。「くすりのまち」として全国にその名が知られ、立山連峰や「越中八尾おわら風の盆」に多くの観光客が訪れます。

近年は、「公共交通の活性化によるコンパクトなまちづくり」を進めており、全国初の本格的LRT「富山ライトレール」の開業、「富山市中心市街地活性化基本計画」の国第1号認定、「環境モデル都市」の国認定、全国初の自転車市民共同利用システムの運用開始など、様々な取り組みが行われています。

平成26年度の北陸新幹線開業に向け、今後ますますの発展が期待されています。

主任講師

1946年富山県細入村生まれ。東京大学理学部地理学科卒業。文学博士。専門は社会地理学・地域論。総務省過疎問題懇談会座長として過疎法の拡充に尽力、自治大学校講師、富山県景観審議会会長、富山市都市計画審議会会長等を務める。富山市に住み、地方と東京を見つめる生活を25年以上続ける。主な著書に『地域づくり・創造への歩み』(古今書院)、『新・地域を生かすー地理学者の地域づくり論ー』(原書房)、『若者と地域をつくる 地域づくりインターンに学ぶ学生と農山村の協働』(原書房)などがある。



早稲田大学
教育・総合科学学術院教授
宮口 侗 氏

会場

富山国際会議場2階 多目的会議室 204

富山県富山市大手町1番2号

【アクセス】JR富山駅より市内電車(セントラム)

国際会議場前下車 徒歩0分

日程

6.29 | 水

13:30 開講式・オリエンテーション

Lecture 1

13:45 「都市本来の価値とは？
ーコンパクトシティへの取り組みによせてー」
(総論・問題提起) 主任講師：宮口 侗 氏

Lecture 2

15:00 「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」
特別講師：富山市長 森 雅志 氏

Lecture 3

16:40 「中心商店街の再開発と市民参加の賑いづくり」
特別講師：総曲輪シティ株式会社 代表取締役社長 五艘 光洋 氏

6.30 | 木

Lecture 4

9:00 「富山市の見どころと最近の価値ある動き」
主任講師：宮口 侗 氏

Lecture 5

9:30 「富山ライトレールの事業概要」
特別講師：富山市都市整備部路面電車推進室

Field Work 1

10:30 「岩瀬のまち歩き」
特別講師：岩瀬まちづくり株式会社 社長 梶田 隆一郎 氏

Field Work 2

14:10 「総曲輪商店街のまち歩き」
特別講師：(株)まちづくりとやま 山下 裕子 氏 他

Group Work 1

16:30 視察結果のとりまとめ
主任講師：宮口 侗 氏

7.1 | 金

Group Work 2

9:00 視察結果のとりまとめ
主任講師：宮口 侗 氏

Group Work 3

10:00 グループ発表・講評
主任講師：宮口 侗 氏

Lecture 6

11:40 総括「学びから実践へー参加者への期待ー」
主任講師：宮口 侗 氏

11:55 閉講式